

平成 29 年度水稲関係生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 29 年度水稲関係生育調節剤試験成績検討会は、平成 29 年 12 月 19 日(火)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 30 名、委託関係者 26 名ほか、計 70 名の参集を得て、健苗育成を目的としたもの 4

剤(適用性 23 点)、登熟向上を目的としたもの 7 剤(適用性 21 点)、倒伏軽減を目的としたもの 1 剤(適用性 4 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成 29 年度水稲関係生育調節剤試験 判定

< 健苗育成 >

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
1	NC-235 顆粒水和 クロラントラニプロール:25% アミスルブロム:12.5% [日産化学工業]	育苗箱処理(発芽後緑化始期)での根部生育及び発根促進効果と移植後の活着促進効果の検討	継	継) 効果・薬害の確認
2 -1	NF-171 フロアブル ピカルブトラゾクス:10% [日本曹達]	育苗箱処理(播種時)による根部の生育促進効果及び移植後の活着促進効果の検討(使用量2000倍液500mL/育苗箱への拡大)	実・継 従 来 ど お り	実) 根部の生育促進および移植後の活着促進 ・播種時または発芽後(緑化始期) ・1000倍液500mL/育苗箱 2000倍液1000mL/育苗箱(発芽後処理を除く) ・土壌灌注処理 継) ・2000倍, 500mL/育苗箱処理での効果 薬害の確認(播種時, 発芽後)
2 -2		育苗箱処理(発芽後緑化始期)による根部の生育促進効果及び移植後の活着促進効果の検討(使用量2000倍液500mL/育苗箱への拡大)		
3	NF-171 粉 ピカルブトラゾクス:0.7% [日本曹達]	育苗箱処理(播種前)による根部の生育促進効果及び移植後の活着促進効果の検討(年次変動の確認)	実・継 従 来 ど お り	実) 根部の生育促進および移植後の活着促進 ・播種前 ・6~8g/育苗箱 ・土壌混和処理 継) ・6gでの年次変動による効果薬害の確認
4	SYJ-290 粉粒 過酸化マグネシウム:15% [シンジェンタ ジャパン]	湛水直播水稲(表面播種)での苗立ち安定効果の検討	実	実) 湛水直播(表面播種)での苗立ち歩合の安定 ・播種前浸種後 ・乾籾重量の0.5~等倍量 ・浸種後乾燥種子に粉衣 注) ・活性化籾を使用する

<登熟向上>

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
5	KUH-833F(L) フロアブル プロヘキサジオンカルシウム塩:1% [クマイイ化学工業]	高温登熟障害(白未熟粒等の発生)の軽減効果の検討	継	継) 効果・薬害の確認
6	NGR-072 粒 イソプロチオラン:12.0% エチプロール:1.5% [日本農薬]	・登熟向上効果の年次変動の確認 ・白未熟粒等発生軽減効果の検討 ・割れ粍発生軽減効果の検討	実・継 従来どおり	実) 登熟向上 ・出穂前10～20日 ・4kg/10a ・湛水散布 継) ・高温登熟下での登熟向上, 品質向上効果の確認
7	NGR-073 粒 イソプロチオラン:12.0% クロラントラニプロール:0.75% [日本農薬]	・育苗箱処理での効果・薬害の検討 ・登熟向上効果の検討 ・白未熟粒等発生軽減効果の検討 ・割れ粍発生軽減効果の検討	継	継) 効果・薬害の確認
8	NGR-1202 ジャンボ イソプロチオラン:36.0% [日本農薬]	・登熟向上効果の検討 ・白未熟粒等発生軽減効果の検討 ・割れ粍発生軽減効果の検討	継	継) 効果・薬害の確認
9	イソプロチオラン 粒 イソプロチオラン:12.0% [日本農薬]	・3kg/10a処理での効果・薬害の検討(薬量拡大) ・登熟向上効果の検討 ・白未熟粒等発生軽減効果の検討 ・割れ粍発生軽減効果の検討	実・継 従来どおり	実) 登熟向上, 高温登熟下での登熟向上・未熟粒の発生軽減 ・出穂10～20日前 ・4kg/10a ・湛水散布 継) ・効果の変動要因について ・3kg/10a処理での効果・薬害の確認
10	イソプロチオラン1kg 粒 イソプロチオラン:36.0% [日本農薬]	・登熟向上効果の年次変動の確認 ・白未熟粒等発生軽減効果の検討 ・割れ粍発生軽減効果の検討	実・継 従来どおり	実) 登熟向上 ・出穂10～20日前 ・1kg/10a ・湛水散布 継) ・高温登熟下での登熟向上, 品質向上効果の確認
11	イソプロチオラン 乳 イソプロチオラン:40% [日本農薬]	・登熟向上効果の年次変動の確認 ・白未熟粒等発生軽減効果の検討 ・割れ粍発生軽減効果の検討	実・継 従来どおり	実) 登熟向上 ・穂ばらみ期～穂揃期 ・1000倍液150L/10a ・茎葉散布 継) ・高温登熟下での登熟向上, 品質向上効果の確認

<倒伏軽減>

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
12	SSDF-20S 粒 ウニコナゾールP:0.002% N-P-K=20-11-11 [住友化学]	直播水稻での側条施用における倒伏軽減および薬害の検討	実	実) 節間短縮による倒伏軽減(直播水稻) ・側条施用 ・播種時 ・30～40kg/10a (基肥として施用)